

議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成27年2月13日(金) 17時30分～18時30分まで		
開催場所	蓮池小学校 会議室(蓮池PTA本部役員)		
参加人数	9人 (男性 2名・女性 7名)		
班構成	2班	福原 隆泰・岡田 千賀子・神吉 史久 木村 晴恵・藤原 秀策・松岡 光子・松下 嘉城	
役割分担	代表者	福原 隆泰	司会進行者 神吉 史久
	報告者	木村・藤原・岡田	記録者 松下 嘉城
報告内容	<input type="checkbox"/> 議会の活動状況 <input type="checkbox"/> 予算等の審議状況 <input type="checkbox"/> その他重要と思われる事項 ・中学校給食について ・小中一貫教育について ・部活動を理由とする校区外就学について		
	報告に関する質疑	(質疑)	(答弁)
	<u>中学校給食について</u> Q 中学校給食は弁当と違って、配が必要であり、休み時間が短くなっていると感じている。学校運営として、その点についてはどうか。 Q 以前小学校の試食会で、パンとうどんのセットが出された。炭水化物同士は食育としてどうなのか。 Q 献立がパン食の時、量が足りない時がある。中学校ではクラブ活動が始まり、量的に個人差があるのでは。	A 配膳について、当初は少し時間がかかっていたが、すぐ段取も良くなっている。 A 学校給食については、保護者より指摘及び提案があれば、必要に応じて改善はしていると聞いている。 *補足(学校教育G) ・1ヶ月の栄養とカロリーをトータルで考えている。パンとうどんのセットは炭水化物としての摂取基準内に納まる。 A 町のほうに要望として、伝えます。 *補足(教育総務G) ・中学生に必要なカロリーを提供しているので、補助食は認めていないが、クラスの中で分け合っている。	

	<p>Q 播磨町の小学校には栄養教諭が2名いるが、中学校には配置がない状態。今後、配置して中学校独自の献立の考えはないのか。</p> <p><u>小中一貫教育について</u></p> <p>Q 私たちの時は学年に1～2名程度であった不登校の生徒が、現在クラスに数名いると聞いている。小中一貫教育で解消されるのか。</p> <p><u>校区外就学について</u></p> <p>Q 校区外就学は、町外の中学にも行けるのか。</p> <p>Q 部活動以外の例えば、学力に関することで、校区外就学は認められないのか。</p>	<p>A 基本的に同じ献立です。教育委員会の中に栄養担当の職員が在籍し、ひと月の括りの中で工夫をしている。</p> <p>A 町は小中一貫教育の導入を研究している。現在は、小中連携教育により、相互の情報交換や交流を通じて不登校生などの解消を目指している。</p> <p><u>狙いとして</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学べる独自教科の設定 ・中学の内容の先取り学習が可能 ・9年間で弾力的に区切ることで学習能力の向上 ・中学生活になじめず不登校などになる「中1ギャップ」の解消 <p>A 町外への就学については受け入れる市町の制度がある。</p> <p>A 学力での校区外就学はないが、いじめ問題やどうしても学校に馴染めない生徒などには認められるケースがある。</p>
<p>その他の質疑</p>	<p>Q いきいきセンターの温水プールを、才能ある子供たちの将来のため部活動に使用できないか。</p> <p>Q 宮西に住む生徒が、南中学校までの約2.5kmを徒歩で通学している。部活動が終ると暗くなり、不審者のことも保護者は心配している。</p>	<p>A この施設は健康増進のため建てられたものであり、部活動での利用はできない。</p> <p>A 原則、通学については安全の観点から校区内は徒歩による通学となっている。但し、怪我などで通学が困難な場合は、学校長の許可を得て完治までの期間限定で</p>

	<p>Q 中学校は肩掛けカバンになるが、教科書や辞書で重くなり、背骨が曲がることもありうる。中学生も背負えるようなカバンに見直す時期ではないのか。</p> <p>また、南中学校の夏の制服がポロシャツタイプに変わった。子どもたちのために変えてあげたい。</p>	<p>自転車通学を認めている。</p> <p>* 補足(学校教育G)</p> <p>・カバンや制服の指定は、学校の判断で実施している。</p> <p>南中学校の夏服は学校とPTAの間の協議で決めている。</p>
備 考		